

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

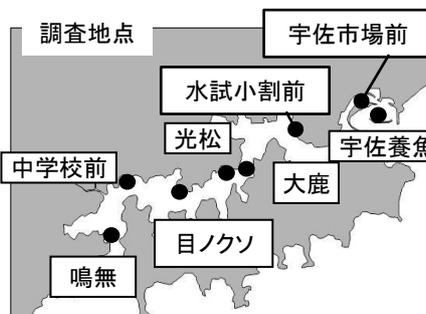
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイは最高で1cell/mL確認されましたが、シャットネラ属は確認されませんでした。また、漁業被害の報告がないプランクトンであるプロロセントラム・ミニナムが最高で8,200 cells/mL確認されました。

本日の調査では浦ノ内全域において5m層でプロロセントラム・ミニナムの細胞数が多く、赤潮となる恐れがありました。また、優先しているプランクトンが有害種に替わる恐れがありますので、十分注意してください。また、海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

	水深	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	プロロセントラム・ミニナム
中学校前	2m	0	0	360
	5m	0	0	8,200
目ノクソ	2m	0	0	1,500
	5m	1	0	7,700
光松	2m	0	0	2,400
	5m	1	0	6,600
大鹿	2m	0	0	5,200
	5m	0	0	4,250
水試小割前	2m	0	0	440
	5m	0	0	680
宇佐市場前	2m	0	0	340
	5m	0	0	320
宇佐養魚場	2m	0	0	24
	5m	0	0	300



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/mL以上 (魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/mL以上 (魚類へい死)